

1. 科目名 (単位数)	知的障害者の心理・生理・病理 (2 単位)		3. 科目番号	SNMP2450 SCMP2450 SBMP2450 SSMP2450 SPMP2450 SSMP2350
2. 授業担当教員	上田 征三			
4. 授業形態	講義だけでなく様々な形態のグループ討議など、アクティブラーニングに基づいた履修者同士の実践的な学び合いを重視する。※可能であれば補講期間などに関連施設の見学を入れる。		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「障害児教育論」を履修済みであることが望ましい。			
7. 講義概要	知的障害特別支援学校の在籍児童生徒はいま、その大半が自閉症である。特別支援教育に関わる教員を目指すのであれば自閉症に関する知識、理解を深めることは必須の条件であり、本講座では主に自閉症児者の心理や病理にスポットを当てて講義を進めていく。また昨今では特別支援学校高等部に在籍する軽度知的障害がある生徒が起こす問題行動がクローズアップされている。ダウン症などその他の知的障害も含め、特別支援学校児童生徒の理解に必要な基礎的、基本的知識をベースにしながら彼らの生活全般に係る指導・支援の方法についても考えていく。講義ではスライドや画像、動画、独自の資料を多用し、積極的なグループディスカッションを取り入れ、より実践的に学ぶ。			
8. 学習目標	以下に関して学習し理解を深め、指導実践力を高める。 1. 知的障害に関する基礎的、基本的な知識を理解し、説明することができる。 2. 特に自閉症についてはその発生原因から発達過程、行動特性などについて知り、学校現場での支援方法について考えを述べることができる。 3. 各種発達検査の目的、種類、方法、アセスメントについて理解し、説明することができる。 4. ダウン症やその他の知的障害についても理解を深め、説明することができる。			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	1. 授業内容に沿った小テストを13回実施 (到達度評価) する。 2. 到達度に至るまで小テストを実施し、未達成者にはレポート (手書き) を課す。 3. 小テストや配付プリントが閉じられるようなノート兼用のバインダーを必ず準備する。 4. 予習時、授業時、復習時でアンダーラインを引き書き込みをするペンの色を使い分ける事を勧める。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 杉野学・上田征三編著『初めて学ぶ知的障害児の理解と指導』大学図書出版、2020。 【参考書】 梅谷忠勇・生川善雄・堅田明義『特別支援児の心理学—理解と支援』(新版) 北大路書房、2015 年。 石部元雄・上田征三・高橋実・柳本雄次編著『よくわかる障害児教育』(第 4 版) ミネルヴァ書房、2020 年。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 知的障害の心理・生理・病理についての基礎的知識を理解し、説明できるか。 2. 自閉症、ダウン症やその他の知的障害の障害特性を理解し、適切な支援方法・指導実践力がついたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。] 1 授業への積極的参加 (総合点の 30%) 2 日常の学習状況 (総合点の 40%) 3 課題レポート (総合点の 30%)			
12. 受講生へのメッセージ	1. 授業中に携帯、私語、居眠り、飲食などをしないこと。 2. 教室を散らかしたり机を汚したりしないこと。 3. マナーを守り、大学生としての学習体制を確立すること。			
13. オフィスアワー	授業以外の時間 (予約をお願いすることもある) ※月曜日は都合がつきやすい。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション&知的障害について —知的障害の概念ほか—	事前学習	教科書の第 1 章 知的障害者と触れ合った経験について説明できるようにノートにまとめる。	
		事後学習	知的障害の概念について授業時間に配布した穴埋め問題の間違った部分をやり直ししながらノートにまとめ再確認する。	
第 2 回	知的障害の概念 —知的障害の分類と状態—	事前学習	教科書の第 2 章を読み知的障害の基本的な知識について事前に配布した予習プリントを解く。	
		事後学習	知的障害をもたらす様々な病因などについて授業中に実施した小テストをやり直ししながらノートにまとめ再確認する。	
第 3 回	知的障害教育における多様な教育の場 —知的障害の教育課程編成—	事前学習	教科書の第 3 章を読み知的障害の基礎知識について理解し、その要約をノートにまとめる。	
		事後学習	知的障害に関する定義や発生要因について授業中に実施した小テストをやり直ししながらノートにまとめ再確認する。	
第 4 回	知的障害教育における指導の特徴 —知的障害の概要と心理特性—	事前学習	教科書の第 4 章を読み知的障害の認知特性について理解する。	
		事後学習	知的障害のパニックやこだわりがなぜ起こるのか、について授業中に実施した小テストをやり直ししながら再確認する。	
第 5 回	知的障害教育における個に応じた指導 —個別の指導計画等—	事前学習	教科書の第 5 章を読み知的障害の行動特性について理解し、その要約をノートにまとめる。	
		事後学習	パニックや強度のこだわりの原因について授業中に実施した小テストをやり直ししながら再確認しノートにまとめる。	

第6回	知的障害教育における自立活動の指導—自立活動の実際—	事前学習	教科書の第6章を読み学習障害児への指導・支援について理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	構造化、コミュニケーションツールといった専門用語に関する小テストをやり直ししながら再確認しノートにまとめる。
第7回	知的障害教育における学習指導案の作成・活用—知的障害児の学習上の特性—	事前学習	教科書の第7章を読み知的障害児の社会生活等について理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	授業中に実施した知的障害児の医学的知識に関する小テストをやり直ししながら再確認する。また、自閉症関連の課題に沿ったレポートをまとめる。
第8回	知的障害教育における日常生活の指導—実践事例①から⑤—	事前学習	教科書の第8章を読み知的障害教育のまとめの穴埋め問題に回答しておく。
		事後学習	様々な知的障害教育の問題行動がなぜ起きるのか、授業中に実施した小テストをやり直し、ノートにまとめ確実に理解できるようにする。
第9回	知的障害教育における遊びの指導—年間指導計画と学習指導案例—	事前学習	教科書の第9章を読み知的障害教育について理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	知的障害教育の遊びについて授業中に実施した小テストをやり直ししながら再確認しノートにまとめる。
第10回	知的障害教育における生活単元学習—生活単元学習の位置づけ—	事前学習	教科書の第10章を読み知的障害教育について生活単元学習に関する資料を事前に配布するので読んで理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	視覚機能障害と知的障害を伴う病種について授業中に実施した小テストをやり直ししながら再確認しノートにまとめる。
第11回	知的障害教育における作業学習—実践例—	事前学習	教科書の第11章を読み知的発達障害について資料を事前に配布するので読んで理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	知的発達の障害への支援のあり方などについて授業中に実施した小テストをやり直ししながら再確認する。また、知的発達の障害全般に関する課題に沿ったレポートを作成する。
第12回	知的障害教育における国語科の指導—実践例—	事前学習	教科書の第12章を読み知的障害教育における国語科の指導について資料を事前に配布するので読んで理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	国語科の指導の実践例について授業中に実施した小テストをやり直ししながら再確認しノートにまとめる。
第13回	知的障害教育における算数科の指導—実践例—	事前学習	教科書の第13章を読み知的障害教育における算数科の指導について資料を事前に配布するので読んで理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	算数科指導の実践例について調べ時に発表できるようにする。また、授業中に実施した小テストをやり直ししながら再確認しノートにまとめる。
第14回	重度重複障害の理解と指導—重度・重複時の指導のポイント— ①発達支援センター等の地域支援機関 ②保護者支援の重要性	事前学習	教科書の第14章を読み重度重複障害に関わる現代の課題に関する資料を読み、自分の意見を持つことができるよう準備し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	最新の社会事情の中で障害にまつわる出来事について最も関心のあるものを調べ、ノートにまとめ発表できるよう準備する。
第15回	知的障害教育におけるキャリア・進路指導—全体のまとめと質疑応答—	事前学習	教科書の第15章を読み知的障害に関わるキャリア・進路指導の課題に関する資料を読み、自分の意見を持つことができるよう準備し、その要約をノートにまとめる。全体をz通じて関心が高かったテーマを選び、それになぜ関心を持ったのかノートにまとめ説明できるよう準備する。
		事後学習	知的障害児者の心理や病理に関する課題に沿ったレポートを作成する。
期末試験			